



いいで町

194号

議会だより

私たちの声が届くように



女性の方との懇談会

6月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

6月定例会	P 2~3
第三セクター決算報告	P 4~5
町政を問う8名の一般質問	P 6~10
町内の課題を中央へ要望	P 13
特集 「米坂線復旧飯豊の会」	P 14
町民からの一言コーナー	P 16

補正予算1億9272万7千円を増額

定額減税補足給付金7500万円

6月定例会

一般会計補正予算（第1号）は1億9273万円を追加し総額75億3873万円に

一般会計補正の主な歳入と歳出

(主な歳入)

- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1億439万円
- 道路橋梁費補助金 217万円
- 畜産所得向上支援事業補助金 2083万円
- 財政調整基金繰入金 2800万円
- 森林環境贈与税繰入金 500万円
- 土木債 1100万円
- 上郷地区農地整備事業換地業務委託金 229万円

(主な歳出)

- 令和6年度新たな非課税世帯等物価高騰緊急支援給付金 2252万円
- 同上（子育て世代加算分） 100万円
- 定額減税補足給付金 8072万円
- 低所得の子育て世代に対する子育て世代生活支援特別給付金（その他世帯） 156万円
- 畜産所得向上支援事業補助金 2464万円
- 農業経営高度化支援事業業務委託料 229万円
- 持続可能な森林づくり事業業務委託料 500万円
- 白川ダム周辺整備事業測量業務等委託料 500万円
- 道路維持工事請負費 1810万円

概要

令和6年6月定例会は、6月13日から21日までの9日間の会期で開催されました。一般質問は8名の議員が、2日間にわたり町政をたどりました。第6日目の議案審議では条例関係が2件、一般会計補正予算（第1号）を含む各会計補正予算が6件、第三セクター決算状況の報告等を審議し、原案のとおり可決しました。

第7日目以降は、総務文教・産業厚生各常任委員会において所管事務調査を行いました。最終日には、追加提案された一般会計補正予算（第2号）などを審議し、医療施設費3千万円の追加は否決。その他は原案通り可決し閉会しました。

表紙のこと

7月14日、あくす研修室にて「女性の方との懇談会」が9名の参加により開催されました。町や議会に多くの意見、要望、提案をいただきました。3連休期間の開催にも関わらず、参加いただいた皆様に感謝申し上げます。（P15に関連記載）

人事

添川財産区管理会委員

野口 良夫氏（新任）

大字添川

新野 崇氏（新任）

大字添川

中津川財産区管理会委員

長谷崎 文男氏（新任）

大字岩倉

◆フォレストいいで 利活用が一步前進

◆民間、医療施設の補助金投入は否決

補正予算(1号・2号)の概要

補正予算(第1号)の主な歳入は、物価高騰への臨時交付金をはじめ、補助金と繰入金となっている。主な歳出は、非課税世帯への支給給付金、定額減税補足給付金、白川ダム周辺整備事業となっている。また最終日の補正予算(第2号)は、前年度繰越金を歳入とした地域医療支援事業補助金3000万円となっている。各補正予算はそれぞれ討論が行われ、採決となった。

議案審議の主な内容と質疑

補正予算(第1号)

●フォレストいいでの敷地測量業務等委託料500万円の提案について

反対討論
遠藤(芳)議員 測量以前にフォレストいいでを今後どのように活用するか、計画を示すべきである。

賛成討論

高橋(勝)議員 立地する土地面積の確定は、白川ダムオープン化という国県の事業も関係することから、必要な測量である。

採決

賛成5 高橋 勝議員

横山清彦議員



フォレストいいで

屋嶋雅一 議員

舟山政男 議員

高橋亨一 議員

高貫寿雄 議員

遠藤純雄 議員

松山和好 議員

遠藤芳昭 議員

結果 賛成多数で可決

●JR米坂線復旧シンポジウム

遠藤(純)議員 JR米坂線復旧シンポジウムの内容は

住民課長 8月31日絆祭りの開催経費と復旧をアピールするために東京駅で行う物販事業の費用である。

●業務委託料の内容は

横山議員 庁舎管理業務委託料38万5千円の内容については。

総務課長 庁舎駐車スペースの区画整備を行う内容である。

学童クラブ運営費について

高橋(亨)議員 学童クラブ運営費1082万円の

増額理由は。教育総務課長 人事の異動に伴う人件費の増額が主な理由である。

●情報通信設備管理費

屋嶋議員 光ファイバーケーブル移設工事請負費89万7千円の追加内容は。

企画課長 民家からの落雪によるケーブル切断の恐れがあり、撤去工が必要となったことによる。

補正予算(第2号)

●民間医療施設への飯豊町地域医療支援事業補助金3000万円の提案について

反対討論

遠藤(芳)議員 5年後には1億6千万円の負債が見込まれ、患者数の減少や経営実態等の本質的な対応が必要である。地域医療の存続が急務であれば町は現実に即した「地域医療再編計画」等を策定し根拠に基づいた支援を行うべきであり、経営

難のみに対しての支援は行うべきではない。

賛成討論

屋嶋議員 今後の利用をする人を含めて、医療施設をなくしてはいけなく、閉院後に地域医療を議論しても手遅れとなる。今まで他産業には毎年支援してきており、地域医療にはない。支援するべきである。

採決

賛成2

屋嶋雅一 議員

高橋亨一 議員

反対7

横山清彦 議員

高貫寿雄 議員

遠藤純雄 議員

高橋 勝 議員

舟山政男 議員

松山和好 議員

遠藤芳昭 議員

結果

賛成少数で否決

令和5年度

土地開発公社 第三セクター

決算報告

令和5年度の土地開発公社事業及び第三セクター4社の決算が報告されました。新型コロナウイルス感染症が昨年5月から5類感染症に移行したことにより、観光業や飲食業を中心に人の流れが増加し、経済活動は活発化しました。その一方で物価高騰による材料費、光熱費等の増額で厳しい経営環境が続いております。

また、事業概況を決算報告書より抜粋し記載していますので、ご覧ください。

飯豊町地域振興公社（白川荘・しらさぎ荘・飯豊少年自然の家）

単位：万円

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	2億1756	2億6860	3億6211
売上原価	5241	7462	7983
販売費及び一般管理費	2億1296	2億3799	2億9015
当期収益	▲4027	▲3381	▲528
繰越損益	▲1億1603	▲1億4984	▲1億5512



<事業概況> 売上高約1億円の増加、独自営業の取組強化

施設利用者の生活意識は明らかに変化しており、コロナ禍以前の売上高まで復帰させるには施設利用者のニーズに合った新たな施設機能及びサービスの充実が求められてきていることを認識している。また、昨年末まで展開されてきた各種の経済支援策がほとんどなくなり、当年度の実績は独自営業の強化取り組み、各種イベント等に対する当地域利用者のご理解ご支援にも強く支えられてきたと考えている。

有限会社エルベ

単位：万円

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	2834	2857	3167
売上原価	846	922	1078
販売費及び一般管理費	2360	2378	2334
当期収益	▲44	▲248	259
繰越損益	▲1444	▲1692	▲1951



<事業概況> 売上げ、来店者数増加

新型コロナウイルスが5類に引き下げられ人流が活発となり、当期の来店者数は14,109人で前期比較479人、前期対比3.51%の増となった。売り上げは、前期を上回ったものの、小麦や乳製品の原材料に加え、食料油脂類、各種物品の値上げにより売上原価を押し上げ売上総利益を伸ばすことができなかった。

飯豊めざみの里株式会社

単位：万円

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	4億7296	6億6388	7億6432
売上原価	3億2535	4億3180	4億9465
販売費及び一般管理費	1億8845	2億4167	2億6266
当期収益	▲1736	▲833	1046
繰越損益	▲3190	▲4023	▲2978



<事業概況> 当期収益がプラスに

新規に館外催事を7か所追加し、年間16か所で実施した結果、前期比2,000千円の売上増となった。お中元お歳暮ギフトの予約販売やコンビニギフトを強化し、前期比109%の売り上げ実績となった。移動の車中で食するいちごの売り込み、宿泊先や仙台空港までのりんご・いちごの配達対応もおこなった。インバウンドの昼食人数は4,100名、総売り上げで10,000千円を超える実績となった。また、閑散期においては、新聞折込やSNS発信で集客増を図った。

有限会社どんでん平ゆり園

単位：万円

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	3450	3588	3700
売上原価	1017	976	1105
販売費及び一般管理費	2456	2604	2636
当期収益	5	153	38
繰越損益	▲871	▲718	▲679



<事業概況> 売上高前年比1,116千円の増

ゆり園の営業期間は6月10日～7月16日までの37日間だった。

開花は6月29日から最盛期となり、天候にも恵まれ7月8日までの10日間にて開花の最盛となった。6月の入込客数は対前年6月比49.6%増の7,811名で、7月は対前年7月比26.4%減の8,930名となり総売上高は、36,997千円で対前年比+1,116千円となった。

飯豊町土地開発公社

単位：万円

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
完成土地等売却収入	385	556	527
完成土地等売却原価	398	564	1740
当期利益	▲378	13	1194
繰越損益	1872	1885	691



<事業概況> 1区画販売（現在9区画販売）

添川住宅団地の造成販売を行っている。今年度は1区画の販売となった。



氏名	質問事項	ページ
議席番号4番 高橋 勝 議員	①次期町長選挙の対応は。そして電池バレー構想の現在地を問う ②フォレストいいでの現状と今後の対応を問う ③値上げの予定は。今後の水道料金と水道管の更新計画を問う	P7上
議席番号3番 遠藤 純雄 議員	①コンパクトな「まちづくり」について ②持続可能な農業の振興について	P7下
議席番号8番 遠藤 芳昭 議員	①米坂線住民組織とどう連携するのか ②地域防災計画をどのようにすすめていくのか ③住宅団地販売促進をどうすすめるのか	P8上
議席番号7番 松山 和好 議員	①中津川地区の観光開発の意義と今後の構想について	P8下
議席番号5番 屋嶋 雅一 議員	①地球温暖化による住民生活への影響とその対策は	P9上
議席番号1番 横山 清彦 議員	①暖冬小雪でスキー場、町道の除雪作業に従事された方の生活の支援について ②自主防災組織の現状と今後の取り組みについて	P9下
議席番号6番 舟山 政男 議員	①高齢者の交通（足）確保に「過疎地ライドシェア」を取り入れることについては	P10上
議席番号2番 島貫 寿雄 議員	①3月から実施された役場庁舎の電話対応について。業務改善につながっているのかお聞きします。 ②4選目に掲げた「子どもたちの未来へ」というスローガンの達成度をお聞きします。 ③一般質問の際に約束された町長の言葉の重みについてどうお考えなのかお聞きします。 ④4期目の任期満了を今秋に控え、この4年間の実績を踏まえ、我が町の現状と課題は何かお聞きします。	P10下

知れば得する議会の基本「一般質問について」



録画中継を見ることが
できます

一般質問は定例会の本会議において、議員が執行機関（自治体の長や委員会）に対して、行政全般（公共事務、行政事務の一切を含む）について質問を行うことです。一般質問では、執行官の所見や施策について報告を求めたり問いただすこともあります。

水道料金の値上げは 今後の料金見直しを問う

町長

現在の経営状況を踏まえ
料金見直し検討の時期に
きている

水道料金の値上げの
時期に変更はないか

質問 現在の「水道施設整備計画書」には、「平成29年度に値上げを行い、向こう10年間は料金引き上げを行わず、運営が可能と判断」と記載されている。現在も見直し時期に変更はないか。

町長 水道施設の機械設備の更新費用や燃料等の価格高騰による維持管理費が増大している経営状況を踏まえ、料金見直しを検討すべき時期にきていると考えている。

フォレストいいでの
今後の行方は

質問 3月予算委員会にてフォレストいいでの今後について、「事業予定者からは、現在の賃貸契約では事業着手の優先順位が下がる。この方針を受け、町として新たに方針を定めなければならない。」と答弁されている。そこで、

①現在の賃貸としてい
る方針の変更は。
②事業推進には覚書締
結が必要では。
③物件情報を公開し、
事業者公募を行う予定
は。



高橋 勝 議員

町長 ①売却をした場合、維持管理費が皆無になること、民間事業者による改装・改修による高付加価値化、固定資産税などの財源確保が見込まれることなどを勘案し、売却を進めることに方針を変更した。

②「フォレストいいで」及び「木湖里館」の建物と敷地一体を売買契約として進めていきたい。
③公募型プロポーザル方式を採用したい。
※他に、「次期町長選挙への対応と電池バレー構想の現在地」を質問。

コンパクトなまちづくりと 持続可能な農業振興

町長

住民主体のまちづくり
を継続する。

コンパクトな「まち
づくり」について

質問 急激な人口減少、少子高齢化、世帯数の減少からこれまでの多極ネットワーク型からコンパクトで機能的なまちづくりに転換すべきではないか。

町長 飯豊町では「住民主体のまちづくり」をまちづくりの基本方針としてさまざまな施策に取り組んできた。コンパクトなまちづくりは一つの手法として有効であると考えている。公共インフラについては散居集落であることから維持管理費用が増

大しており、上下水道料金の値上げを検討している。

持続可能な農業の
振興について

質問 本町の基幹産業である農業について、経済・環境・社会が変化しても持続していくために何が必要か、基本的な考え・環境保全・農業後継者・農業者の高齢化・観光との連携について伺う。

町長 本町において20年来取り組んできた耕畜連携による循環型農業で土づくりを行うことを基本とし、化学肥料農薬の使用を制限し、



遠藤 純雄 議員

新・農業人フェアで新規就農者を募り、地域計画の中での営農組織を進め、都市と農村をつなぐ交流、インバウンドなどアグリツーリズムを進めていく。



農業を未来につなぐ

若者定住が急務 町の住宅地販売促進を

町長

まずは働く場所
そして環境づくり

しようと思った。

人口流出を防ぐ施策
が機能しているか

質問 樫のエコタウン

樫と添川住宅団地の販売状況は。

町長 エコタウン樫は

令和元年11月に21区画で販売開始し、現在7区画販売して残り14区画。添川住宅団地は同年10月に15区画販売し、販売済と契約済を合わせて9区画である。

質問 人口減少対策に

繋がっていないのでは。町長 樫も添川も地域からの要望で団地を作った。東山工業団地や中心地の美しい村にふさわしい住宅団地に

若い世代に販売促進策を

質問 販売促進の力

は、若者が住みたくなるまちづくりでは。

町長 働く場と住む場

の同時進行はむずかしい。まずは働く場所、次に住む環境、買い物や交通の利便さなど、順次すすめていきたい。

地の利を生かした
売り込みを

質問 樫は文教・医療・

福祉施設、添川地区には、しらすぎ荘や東山工業団地、高規格道路も開通した。立地を活かした売り込みを。



遠藤 芳昭 議員

町長 以前「飯豊町を

ベッドタウンに」との提案があったが、自立した町を目ざしたい。時間がかかるがいずれ、売れるものと思う。地域整備課長 長井方面へも販売を働きかけていきたい。



定住促進にむけて販売に力を

中津川地区の観光資源を 開発し、もって飯豊町の 所得向上をめざすべし

町長

地域の人達の意見を取り
入れて特色ある観光資源
を開発したい

中津川の、新たな
観光資源開発は

質問 近年の中津川

は、春先の水没林で有名になり、全国各地からの観光客でにぎわっているが、新たな観光資源の開発と、その活用方法はどのように考えているか。

町長 地域の文化、歴

史、飯豊連峰の景観を生かし、地域の人達の意見を取り入れて新たな観光資源を開発していきたい。

すたれていく景観を
どうするか

質問 東洋一と言われ

た赤いニールセン橋。

上流に集落が存在するという珍しい白川ダム。

山肌からの反響音がすばらしい花火。心がなごむ自由奔放曲線の道路はロマンチック街道か。中津川はどこでも

観光地である反面、景観のすたれも指摘されているが、対策はあるのか。

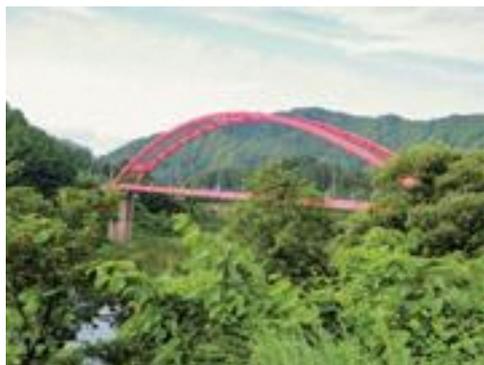
町長 全国的

な傾向ではあるが、中津川地区でも人口減少が大きく、残された廃屋が問題化してきている。これについては

強化された空き家対策
法で対処していく。

商工観光課長 これま

での団体旅行から個人での旅行にスタイルが変わった。今後はさまざまに情報発信しつつ、地域の要望と観光客とのマッチングを図りたい。



景色に映える“東洋一”



松山 和好 議員

危険な暑さから避難できる クーリングシエルターの設置を

町長

役場庁舎・あす・健康福祉センターと各地区まちづくりセンターを指定

町内にクーリングシエルターの設置が必要

質問 熱中症特別警戒アラートが発令された場合、クーラーなどが設置され暑さをしのぐことのできる施設、クーリングシエルター（指定暑熱避難施設）を設置できるが、町でも設置が必要では。

町長 5月中旬に役場1階談話室、あす、健康福祉センター、各地区まちづくりセンターを指定した。今後は、町民に周知していく。

質問 民間の施設もクーリングシエルターとして利用できるよう



屋嶋 雅一 議員

に協力を依頼し連携が必要では。

町長 検討したい。



クーリングシエルター施設を表すマーク

エアコン購入補助を

質問 熱中症対策にエアコン利用が効果的である。高齢世帯や要支援世帯のエアコン購入の場合の支援が必要では。

町長 新築やリフォー

ムの際の支援はあるが、質問に対しての支援は現在では難しい。

小中学校の体育館にエアコン設置を

質問 周辺市町村では、学校の体育館に空調設備を設置する方向で検討されているところがあ。本町でも小中学校へ設置の検討を。

教育長 各学校は避難所としても指定されており、すべてに冷房設備を整備することが望ましいが、予算的な課題と断熱性、気密性を考える必要があり、現段階では難しいが検討していく。

・スキー場、除雪従事者に支援を ・自主防災組織の現状は

町長

・継続的従事者の確保が必要
・防災マップ・個別避難計画を作成

町の保障が必要

質問 暖冬小雪でスキー場、除雪作業に従事された方の生活と継続的に従事してもらうための支援が必要では。

町長 労働基準法第26条の範囲での保障をしている。除雪については、一定の時間に満たない場合固定経費を待機補償料として支払うほか、町道の維持業務側溝整備工事を発注している。

災害時の対応は

質問 災害はいつ起こるか分からない現状で町民の方々が安心、安全に暮らせるための対



横山 清彦 議員

については現在、検討中。

初期消火できる対応を

再質問 高齢者宅に支給した火災警報器の点検、有事の際の転倒防止の突っ張り棒の支給、消火栓用のホース格納箱を再設置する考えは。

総務課長 点検を実施した経過があり、消火栓用の備品はポンプ庫に保管しているが希望する地区については対応したい。

備蓄品の対応は

質問 備蓄品のリストにはレトルト食品や、暑さ対策用備品もないが、必要ではないか。

総務課長 各まちづくりセンターで保管。暑さ対策は、あるものを活用、レトルト食品に



検討中のレトルト食品

高齢者の交通(足)確保に「過疎地ライドシェア」の取り入れは

町長

過疎地ライドシェア導入は大変有効と感じる

高齢化に伴い運転免許証の返納も増加する。「過疎地ライドシェア」の導入については

質問 町の高齢化は今後ますます進んでいくと思われる。それに伴い自動車運転免許証の返納も進み、またそれのみならず高齢者の方は、通院や買い物などは、外出に不便が出てくる。「過疎地ライドシェア」導入の検討は。

町長 高齢者の足の確保として過疎地ライドシェアの導入は大変有効であると感じている。ライドシェアは国でも、今年4月からタクシー

の不足する地域や時間帯に限り、タクシー会社が運行管理を行うなどの一定の条件を満たした場合や、すでに

国家戦略特区の規制緩和を活かして実証実験を行っている自治体もある。

過疎地ライドシェアは決められたコースや運行ダイヤが無いため、住民ニーズに広く答えることができる可能性がある。本町がライドシェアを導入する場合は、全国的なシェアのある事業所ではなく、地域の特性を理解している福祉関係者やNPOなどの組織関係者や



舟山 政男 議員

コミュニティビジネスとして成立する形の導入が望ましいと考えている。

「未来研究所」の活用は

質問 日本型ライドシェアではなく自治体ライドシェアの導入である。「未来研究所の活用」については。

町長 次回の「未来研究所」の会議ではライドシェアを合わせて高齢者の足の確保について検討してほしいと伝える。



玄関から玄関への移動

四期目の任期満了の秋を控え本町の現状と課題は何か

町長

地方創生の一大プロジェクト電池バレー構想を進める

四年間の実績を踏まえ我が町の現状と課題は

質問 電池バレー構想の実情は。

町長 各種事業は必ずしも順調に進展したとは言えないものの、着実に歩みを進めている。

質問 町民の現状への失望、不満をどう捉えているか。

町長 電池研究所は、交流人口の拡大につながり、専門職大学は学生確保、若者の地域内定着、奨学金の創設に取り組む。

質問 町出身者が入学しないのは何故か。奨学金は町内出身者へ。
町長 課題と受け止め

る。

質問 具体的な達成への責務は果たされたか。

町長 思い描いた様にはいかなかったが、ここまで到達できた。

三月から実施された電話録音システムの効果は

質問 町民からは電話が掛けにくいと聞く。町民の意見を遠ざけてはいないのか。

総務課長 録音は理解いただき迷惑電話の抑制効果はある。職員のストレス緩和等にも役立っている。

質問 迷惑電話の来ない町づくりが必要ではないか。
町長 その様に努力する。

四期目の「子どもたちへの未来へ」の達成度は

質問 具体的な施策、その効果は。

町長 学校を再編し義務教育学校にするという重大な決断の達成度は五合目かもしれない。

一般質問の際の町長答弁の重みと責任は

質問 電池バレー構想の町民説明会、役場のエレベーター設置は。

町長 説明は様々な機会や「広報いいで」等で行っているので理解願いたい。エレベーター設置は耐震化工事と災害復旧後を見据え時間を要する。



島貫 寿雄 議員

10月29日(火)執行飯豊町長選挙 全投票所の投票時刻が1時間繰り上げに

総務文教常任委員会

◆各課からの主な報告

◆選挙投票時刻繰り上げ

10月24日(木)告示同29日(火)投票の飯豊町長選挙は、全投票所が1時間繰り上げになる。このため、中津川地区第10、11投票所は、午前7時から午後6時まで、その他の投票所は午前7時から午後7時までとなる。町の広報誌、ホームページ、公式ラインに加え、入場券や選挙広報などで、有権者へ周知していきたい。
(選挙管理委員会)

◆陸上自衛隊第6音楽隊

による「飯豊町民と音楽の集い」
期日 9月1日(日)
会場 あくす

◆令和6年度飯豊町総合防災訓練

期日 11月17日(日)
会場 中津川地区
(総務課)

◆幼児施設、小中学校の運動会日程について

6月 第一小・第二小
9月 手ノ子小
10月 添川小・飯豊中・わくわくこども園・すくすくこども園
(教育総務課)

◆令和6年度二十歳の集いについて

期日 8月15日(木)
会場 あくす
(社会教育課)

●主な質問と答弁

●義務教育学校の制服に校章は入るのか
高橋(勝)委員 開校準備委員会の報告では、義務教育学校の制服については現在ブレザーで検討中であると聞いているが、

価格抑制のため「校章は取り付けない方向」とのことであったが、その後の経過はどのようになっているか。
教育総務課長 制服に校章を付けるか否かについては決定でなく、あくまでもコストの面から方向性を示したものであり、7月の開校準備委員会、専門部会等で改めて検討していきたい。

●カーブミラーの老朽化点検は
屋嶋委員 今年、カーブミラーが根本から折れ、下校途中の児童がケガを

する事案があった。本町すべての標識も含め点検をしたのか。
住民課長 飯豊町交通安全協会の方々の協力を得て、危険個所の点検を行い、異常があればすぐ対応している。



定期的な点検が必要なカーブミラー

●役場まちあそび部は
菅野委員 役場まちあそび部の主眼はどこに置いての実施か。

総合政策室長 「中学生

が創る新しいまちづくり」をテーマに、中学生を対象として、自ら興味や関心のあることを実践することが目的。
●ストーブ・太陽発電
高橋(亨)委員 ゼロカーボン達成に向けて、ペレット・薪ストーブと太陽光発電の設置台数を把握しているか。
生活環境室長 台数は確認している。脱炭素施策に取り組んでいく。

●教職員の働き方改革
島貫委員 教職員の働き方改革のアンケート結果をこのみにせず、さらに改革を。
教育長 アンケートは平均である。学校現場の努力は限界に近いが、更なる改革に取り組む。

7月の開校準備委員会、専門部会等で改めて検討していきたい。

●カーブミラーの老朽化点検は

屋嶋委員 今年、カーブミラーが根本から折れ、下校途中の児童がケガを

する事案があった。本町すべての標識も含め点検をしたのか。

住民課長 飯豊町交通安全協会の方々の協力を得て、危険個所の点検を行い、異常があればすぐ対応している。

生活環境室長 台数は確認している。脱炭素施策に取り組んでいく。

島貫委員 教職員の働き方改革のアンケート結果をこのみにせず、さらに改革を。

教育長 アンケートは平均である。学校現場の努力は限界に近いが、更なる改革に取り組む。

菅野委員 役場まちあそび部の主眼はどこに置いての実施か。

総合政策室長 「中学生

◆全国国土調査事業勤労者協会長賞

町内から
受賞者！

産業厚生常任委員会

◆各課からの主な報告

●質問と答弁

◆令和5年全国国土調査事業功労者

◆主要地方道長井飯豊線(小白川工区)

公益社団法人全国国土調査協会より、当課の小関弘康事務員が協会長賞を受賞した。

5月22日に県が住民説明会を行なった。

◆公益社団法人全国国土調査協会とは

◆主要地方道米沢飯豊線菅沼峠について

全国的な組織です。全国的な市町村が会員となつて互いの土地境界を確定する業務です。

災害復旧工事のため6月17日から11月25日まで全面通行止め。

◆令和6年度新たな非課税世帯物価高騰緊急支援給付事業について

①対象者
非課税世帯100世帯(子育て加算10名)、均等割のみ課税世帯100世帯(子育て加算10名)。

②給付額
一世帯あたり10万円(子育て加算一人5万円)

◆地域計画策定委員会
各地区において個別ワークショップ(目標地図の作成)を開催した。

●ゆり園の無料券の回収率は

(農林振興課)

(健康福祉課)

◆令和5年全国国土調査事業功労者

島貫委員 ゆり園の町民無料券の回収状況は、開園時帰省する町出身者への無料券の有効活用を検討してはどうか。

◆主要地方道米沢飯豊線菅沼峠について

●主要地方道長井飯豊線小白川バイパス

◆令和6年度新たな非課税世帯物価高騰緊急支援給付事業について

遠藤(芳)委員 バイパスの工事はどのように進めるのか。

①対象者

●県道改築事業関連の農地復旧は

非課税世帯100世帯(子育て加算10名)、均等割のみ課税世帯100世帯(子育て加算10名)。

高橋(亨)委員 大巻橋周辺の農地復旧計画は、建設室長 県は、一旦、旧河川と新河川の間土地を買収する予定である。

②給付額

●地域計画の進捗状況

一世帯あたり10万円(子育て加算一人5万円)

遠藤(純)委員 地域計画策定委員会ワークショップの進捗状況は、農林振興課長 6月6



小白川バイパス予定地

じていきたい。

●電池バレーの評価は

●電池バレーの調査は

●玉木沼までのルートの復旧は

●菅野委員

今年雪不足もあつて用水が不足

●農林振興課長

河川の災害復旧や土砂崩れも

あり、正確な期日は不明である。

●地域計画の進捗状況

遠藤(純)委員 地域計画策定委員会ワークショップの進捗状況は、農林振興課長 6月6

あり、正確な期日は不明である。

●地域計画の進捗状況

遠藤(純)委員 地域計画策定委員会ワークショップの進捗状況は、農林振興課長 6月6

豪雨災害後の課題を 中央に要望

議会運営委員会

令和6年7月4日～5日にかけて議会運営委員会（委員長…高橋勝）と町管理職と共に、中央要望及び研修を行いました。初日は、県選出国会議員5名に要望書を手渡ししました。2日目には、衆議院会館会議室にて、「へき地の地域医療について」を厚生労働省医政局地域医療計画課より、また「空き公共施設・空き校舎の利用について」を文部科学省大臣官房文教施設企画防災部施設助成課より説明をいただきました。

【中央要望】

●米坂線の早期全線復旧について

①災害により被災した重要公共交通機関に対して、全額国費による復旧制度の創設

②米坂線の早期全線復旧に関する国への支援要望、JR東日本をはじめとする関係機関へのはたらきかけ

●防災・減災・強靱化に向けた支援の強化について

①流域治水のため、JR路線下を横断する排水路の機能強化支援と負担軽減策の拡充

②萩生川及び小白川の洪水被害を防ぐための、治山・砂防対策及び町内の被災地周辺にある森林の機能低下・土砂流出を防ぐ森林整備に対する支援の強化

③近年の激甚化する自然災害にも耐えられるように、施設機能を向上させる改良復旧事業について、十分な予算措置を行うこと

④住民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算・財源を継

続して確保すること



早期の課題解決を願う

【中央研修】

主な研修内容は以下の通りです。

●へき地の地域医療について



有意義な研修会へ

- ・へき地における医療体系
- ・へき地医療拠点病院、診療所の概要
- ・へき地保健医療対策関係予算

- 空き公共施設・空き校舎の利用について
- ・みんなの廃校プロジェクト概要
- ・廃校施設等の活用に関する利用可能な国庫補助制度

定例総会

第56回置賜三市五町議会連絡協議会の定例総会が、令和6年7月10日「あゝす」を会場に、各市町の議長、副議長及び常任委員長の出席で行われました。

引き続きの講演会では、「カーボンニュートラルの実現『やまがたモデル』の構築について」と題して、飯豊町地域おこし協力隊の小野優太郎氏と後藤武蔵氏を講師に迎えました。



JR米坂線復旧飯豊の会設立

大切な公共交通を守る取り組みを

令和4年8月豪雨により、JR米坂線が不通となったままで、高校生や高齢者は通学や通院などに不便な生活をしいられている。5月31日、総合センターあーすにおいて「JR米坂線復旧をすすめる飯豊の会」の設立総会が開催され、復旧や利用促進について取り組みを決めた。

110余の団体が参加

設立総会には、会員はじめ町議会議員や小国町議会安部議長他多数の議員、町関係者などが出席した。会議では、110余の町内企業、団体が会員となっているとの報告があった。協議の結果、会長に菅野富士雄町議会議長、副会長に富永春次町商工会長、同じく伊藤賢一町観光協会代表理事、屋嶋雅一町議会副議長が選出された。

住民の生活を守るための取り組みを

総会の冒頭、JR米



多くの賛同を得て組織が立ち上がる

新潟・山形両県・沿線自治体と連携した活動を

災害復旧後の運営 JRが4事例を提示

5月29日、小国町で「復旧検討会議」が開催され、JRから「JRが運営する前提での復旧は難しい」とし、復旧後の運営方法として▽被災前同様JRの運営▽上下分離方式▽第三セクター方式▽バスへ転換等4つの事例を上げている。

山形・新潟両県知事「公共交通の視点を」

吉村山形・花角新潟両県知事も「JRによる復旧と運営を求めたい」とする考えを示している。「経営・運営の視点だけではローカル線はいずれ無くなってしまふ。地域の

今後町村単独の取り組みでなく、沿線自治体が連携した行動が必要、現在その内容を協議している。

個人会員を募集

「JR米坂線復旧をすすめる飯豊の会」では、多くの町民の皆様のご支援が必要であり、今後も団体会員の追加募集を行うとともに、個人会員を募ることにしている。多くの町民の願いが大きな力となり、1日でも早い復旧を願いたい。

沿線自治体と連携した行動を

小国町でも同様の住民組織が活動中、近く新潟県関川村でも立ち上げ予定とのこと。



令和3年羽前椿駅 小国方面への乗り場



電車利用の状況

女性の声が届くよう

—第2回議会と女性の方との懇談会開催—

まちづくりの担い手に

7月14日(日)町議会では「第2回女性の方との懇談会」を総合センターあすにおいて開催し、女性の方から町づくりに対する意見を直接お聞きした。詳しくは次号でアンケート結果なども紹介した特集を組む予定であるが、多くの皆さんがまちづくりの担い手であることを改めて確認できた機会となった。

多様な世代交流

参加者は30代から70代の9名で職種も役職等も違っており、このような懇談会は今までになかったとのこと。新鮮な雰囲気の中で開催された。



町の現状に対して

懇談では、町の政策や仕事に対して疑問に思っていることが話合われたが、自由闊達な意見が多く、まずは、足元を良く見ることが大切である。

まちづくりへの提案

女性の視点で「子育て」「教育」「仕事」「福祉」「社会貢献」「ボランティア」「介護」等々の意見が多数あり、議会だよりで詳しく紹介したい。

今後の議会活動に

女性との懇談会で出された意見等について議員間で議論し、課題解決のために議会として取り組みを行う。

案として、町民と課題を共有するため「議会だより次号」で特集を組んで報告する。町に取り組んでもらいたい政策は「女性議会」「町長との話し合い」「町民への発表会」「町への政策提言」等を検討していく。



議会広報作成研修会

7月17日、山形市ビックウイングにおいて山形県町村議会広報研修会が開催され、広報公聴委員6名が参加した。「いいで議会だより」も講師から講評があった。「読みやすく見やすい」「住民視点に立った紙面表現」に心がけるよう更なる努力をしていきたい。



道路美化花を植栽

6月15日(土)早朝県道椿地内梅津スタンド向道路脇花壇約40m区間に、恒例となった花の植栽を行った。例年より気温も高いため、花が枯れないよう水かけを行っていく。



町民からのメッセージ「私からひと言」

「音楽からのまちづくり さらにすすめてほしい」

第1回

女声コーラス

しまぬき
島貫

ようこ
庸子さん (黒沢)



現在、20人のメンバーで音楽や合唱を通して仲間づくりや音楽からのまちづくり活動をしています。

この町に嫁ぎ、女声コーラス「コラール・ド・めざみ」に参加して30年になります。

島貫さん 秋田市から

女性コーラスでご活躍しておられますが

町議会では議会広報紙、本年度より町民からのメッセージ「私からひと言」コーナーを設けることとしました。町民の皆様の活躍のご紹介と、議会に対してのご意見等をご紹介していきます。
第1回は7月14日に開催された「議会と女性の方との懇談会」に参加いただきました黒沢の島貫庸子さんにお話をお聞きしました。

音楽活動での大切にしていくことは何ですか

島貫さん コーラスでは仲間と心をひとつに

曲を作り上げる楽しさが喜びです。毎年東北支部大会に出場しており、愛媛県での全国大会にも参加しました。当初から関わってきており、これまでの歴史をきちんと伝え、新しい文化を育てていくことも大切な取り組みだと感じています。

議会との懇談会に参加しての感想は

島貫さん 普段思っていることも話せないことをたくさん話すことができてまいります。



女声コーラスコラール・ド・めざみ 東北はじめ全国大会へも出場している

議会からひと言

音楽からのまちづくりは町の大切な文化です。今後多くの方が参加できるよう応援してまいります。

きました。女性だからこそできるもの、女性にしかできないものが沢山あることを再認識しました。若い人にも「忙しいだろうけれど、まずは参加してみるところから始まる」と伝えていきたいです。

定例会を傍聴してみませんか

次回の定例会開催は9月3日(火)予定です。

インターネットからでも見ることができます。 議会のホームページをご覧ください。

お問い合わせは議会事務局へ TEL 0238-87-0527



編集後記

今年は昨年の小雪による水不足で春の農作業(代かき)に苦労した地域があった。さらに、梅雨入りは平年より10日ほど遅いとのことで、夏の水不足が心配される。さらに長期予報では猛暑の夏となるとのこと。

令和4年豪雨から丸2年、未だに復旧工事が続く町内。

線状降水帯が全国各地で発生している。昨今、各自の災害への備えはもちろんだが「安心して暮らせるまちづくり」を改めて考えていきたい。(高橋勝 記)

発行責任者

議長 菅野富士雄

発行

広報公聴常任委員会

委員長 遠藤 芳昭

副委員長 屋嶋 雅一

委員 松山 和好

委員 高橋 勝

委員 横山 清彦